

差別のない明るい社会をめざしましょう！

同和問題は今もあります

今でも、結婚を妨げられたり、インターネット上の書き込み（誹謗・中傷）、司法書士による戸籍の不正取得や土地差別調査事象など、日常生活の様々な場面で、差別は残念ながら発生しています。

部落差別が現に存在することを正しく知る必要があります。

解決のために何をすればいいの？

人ごとと思わないで、自分自身の問題としてとらえること、日ごろの行動や意識の中にある差別性に気づくことが大切です。

人間は誰でも、自分は正しいと思うもの。でも、そう考えている自分自身の無知や無理解に気づくことが、あらゆる差別をなくすためのスタートです。自分が同和地区に対して持っているイメージを一度白紙に戻して、素直に学び、理解を深めましょう。

そして、自らの意識を見つめなおし、差別されている人々の立場や気持ちを、少しでもわかるようとする努力をしましょう。

8月は佐賀県同和問題



平成24年度作製 啓発ポスター